

●題名

2014 年 谷川馬蹄形縦走(時計回り)

●参加者

落合(リーダー)、上小牧、小濱、松村(記録)

●行動記録

2日間とも、よく晴れ、風が無く、へばった松村が終始遅れがちだった。

4/26 土曜

5:30 登山センター

(西黒尾根)

9:30 天神尾根分岐

10:15 谷川岳(オキの耳)

12:15 一ノ倉岳

13:00 茂倉岳

14:00 武能岳

15:00 蓬峠

16:00 七つ小屋山

16:45 清水峠(テント泊)

4/27 日曜

6:00 清水峠

8:15 朝日岳

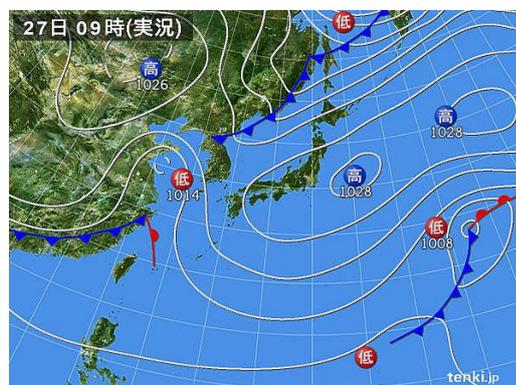
9:30 笠ヶ岳

10:30 白毛門

12:45 土合

●天気図

昼ごろ、ザックに入っている温度計を見ると 25 度を示していたので、見なかったことにした。



## ●ルート選定

2014年のGW前半は、ただの土日休みである。

短期間で縦走的合宿的雰囲気味わうため、出発点に戻ってくる馬蹄形縦走を選択した。落合が夏季に経験あり。

土合から入ると、西黒尾根下降に時間が掛りそうなのと、ロープウェイの誘惑に負ける気がしたので、登山センターから入った(時計回り)。

## ●ルート概観



西黒尾根上部から白毛門下部まで、終始樹林帯の上を歩く。さらに、分水嶺なので天候リスクが高い。予備日を1日設定した。

エスケープは、茂倉岳、蓬峠から土樽へ。

停滞可能場所は、肩の小屋(営業小屋)、蓬ヒュッテ(無人)、清水峠(避難小屋)、笠ヶ岳(シェルター)。今回は一ノ倉と茂倉の避難小屋は雪の下だった。

雪が解け始め、あちこちでクレバスが空いていた。落下を警戒して、スリングでチェストハーネスを作成し縦走した。

白毛門の下りは藪に出たり入ったりしながら苦労して下った。湯檜曾側は意外に切り立っているので注意が必要。

スキーヤーが訪れる芝倉沢より先は人が少なく、静かな山歩きを堪能できる。清水峠は芝の地面が露出しており、快適なテント場であった。避難小屋にトイレもある。

●感想

所々、地面が露出しているのに、アイゼンを付けるか否かで迷う。西黒と朝日の登り以外はつぼ足で歩いたが、トラバースは慎重に歩きたい。

一ノ倉岳から茂倉岳の間でセツピが切れており、万太郎谷側をトラバースした  
七つ小屋山から清水峠の間にあるピークを、北側をトラバースした

踏みぬきが多いせいか、暑さのせいか、筆者は1日目で靴下をぐっしょり濡らした。

落合、上小牧はN社のネオプレーンソックスを使用し、靴も濡れていなかった。欠点を挙げると、

①足がびしょびしょになる(靴の内側は濡れない)、②脱ぐと臭い。

Tシャツ1枚でも暑かった。明け方の清水峠でも気温はプラスだった。

オーバージャケット、ダウン、目出し帽、オーバー手袋は出番なしだったが、春山は気まぐれなので、持っていないわけにはいかない。



とりあえず暑い

## ●食事

### 4/26 夜(小濱)

カップヌードルごはん(通常味)を多めの水で煮込み、ソーセージとチーズを入れる。  
お好みで、マヨネーズ、ケチャップ、青のりをかけると、お好み焼き風味になる。

カップヌードルごはん(通常味)は 98g で 373Kcal、ナトリウム 890mg、208 円である。  
参考に、アルファ米は、100g で 366Kcal、280 円。

### 4/27 朝(落合)

鹿児島限定の棒ラーメン(とんこつ味 こがしねぎ風味)  
乾燥野菜、スライス餅、セブンイレブンのチャーシューを入れた。

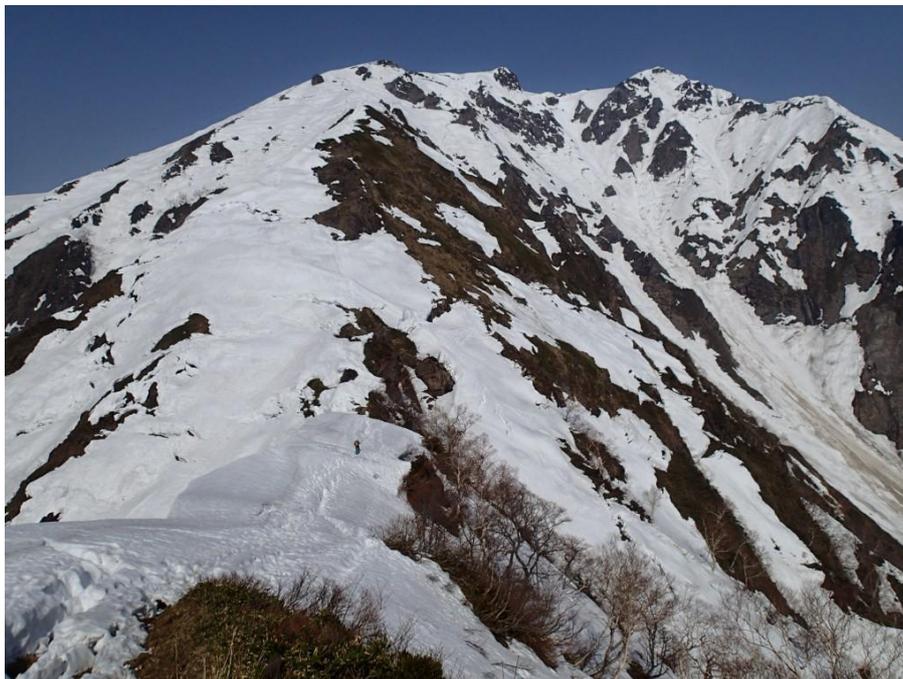
## 調理器具

100 均で以下の便利グッズが揃う。

- ・シリコン製のヘラとレードル
- ・シリコン製のジョウゴ
- ・茶こし
- ・ガス台(コルク製?)

落合のジェットボイル社 1.5L 鍋(FluxRing)と、筆者の primus 社 P-154S の相性がよかった。水はこれをつくったが、4 人分調理できないので、食事は別の大鍋をつかった。

● 写真



西黒尾根上部はところどころ岩が露出していた。



ロープウェイ始発にのった人間の方が先に谷川岳についており、ほぞをかむ

● 写真



翌日には正面の稜線を歩いて下山する。



夏道が出ている。蓬峠あたり。

●写真



2日目の朝。歩いてきた稜線を眺める。



朝日岳までくれば、残りは(ほぼ)降るだけ